

（製造又は改造の過程にある自動車）

- 第56条** 製造又は改造の過程にある自動車で法第34条第1項（法第73条第2項において準用する場合を含む。）の臨時運行の許可又は法第36条の2第1項（法第73条第2項において準用する場合を含む。）の許可を受けて運行の用に供するものについては、工場と工場、保管施設若しくは試験場との間又はこれらの相互間を運行する場合に限り、本章の規定及びこれに基づく告示のうち当該自動車について適用しなくても保安上及び公害防止上支障がないものとして国土交通大臣が告示で定めるものは、適用しない。
- 2 前項の自動車には、第37条第1項本文又は第39条第1項本文の規定にかかわらず、尾灯及び制動灯を後面にそれぞれ1個ずつ備えればよい。
  - 3 法の規定による検査等により本章に定める基準に適合していないことが明らかとなつた自動車又は故障若しくは事故によりこれらの基準に適合しなくなつた自動車については、これらの基準に適合させるため整備若しくは改造を行う場所又は積載物品等による危険を除去するために必要な措置を行う場所に運行する場合に限り、当該基準に係る本章の規定は、適用しない。ただし、その運行が他の交通に危険を及ぼし、又は他人に迷惑を及ぼすおそれのあるものにあつては、この限りでない。
  - 4 国土交通大臣が構造又は装置について本章に定める基準の改善に資するため必要があると認定した試作自動車又は試験自動車でその運行のため必要な保安上又は公害防止上の制限を付したものについては、当該構造又は装置に係る本章の規定は、適用しない。